

## WING Firmware Ver.1.06 リリースノート

### Firmware Ver.1.06 新機能及び bug fix

- 全てのルーティングページで入力信号をメータリング表示
  - 全ての BUS を BUS1-8 へ送ることが可能
  - メイン BUS に Delay を追加
  - BUS から BUS、BUS/メインからマトリックスセンドにプリ/ポスト選択可能
  - FXパラメーターをフェーダーにアサイン可能
  - 各CHの Gate プラグインスロットにダイナミック EQ を追加
  - 76 リミッターアンプ用コンプレッサー「オール」スイッチ (GUI) 追加
  - GPIO コントロールをカスタムコントロールボタンにアサイン可能
  - トークバックはカスタムコントロール (および GPIO) で制御可能
  - グラフィックイコライザーにRTA (リアルタイムアナライザー) 追加
  - HOMEボタンを長押しでコンソールロック可能
  - 各CHページでソースアサイン、モードスイッチ、ファンタム設定が可能
  - CHディレイはポストフェーダーに
  - ソースの割り当て時のカスタマイズコピーの改善 (ドラッグ)
  - USBプレーヤーに楽曲リスト、並べ替え機能、リピート機能を追加
  - 最大4チャンネルのUSB再生と録音を同時に実行 (高速USBメモリ使用時)
  - カスタムコントロールセクションにUSBトランスポートボタン追加
  - ソースをチャンネルにアサインするための新しいルーティングページ追加
  - セットアップメニューでUSBドライブからのファームウェアの更新が可能
- 
- USBドライブの互換性の向上
  - フェーダー未操作時のランダム送信のバグ修正
  - USB プレーヤー/レコーダーの安定性を向上
  - GUI /ワークフローのバグ修正と機能強化

### ファームウェアアップデートプロセス

1. WING背面パネルのUSBポートとPC/MacをUSBケーブルで接続します。
2. SET UP/GROBALページを開いてOSアクセスを有効にします。
3. フラッシュドライブまたは外付けハードドライブの接続と同様に、PC/Macにドライブアイコンが表示されます。PC/Mac内でUSBドライブをダブルクリックして開きます。
4. ファームウェアのzipファイルを抽出し、新しいファームウェアファイルをWING OSドライブにドラッグ/コピーします。
5. コピーが完了したら、PCからWING OSドライブを取り出してください。
6. WINGは、ドライブを取り出してから数秒後に自動的に再起動します。もし再起動しない場合は、コンソールの電源を入れ直し、セットアップ画面の右下隅で正しいファームウェアバージョンを確認してください。

## USBフラッシュからのファームウェアアップデート

- 1.最新のアップデートをbehringer.comからダウンロードし、FATフォーマットのUSBフラッシュに保存します。
2. USBフラッシュをWINGのトップパネルのUSBポートに接続します。
3. セットアップページを開き、ディスプレイの右下にあるコンソールアップデートアイコンをタップします。
4. ファイルブラウザが画面に表示され、ファームウェアアップデートに移動できます。
5. 正しいファームウェアファイルを選択し、タップします
6. アップデートのインストールが完了すると、WING を再起動します。
7. WING を再起動するには、電源を入れ直すか、SETUP/SHUTDOWN を選択してHOME ボタンを押しながら SETUP ボタンを押します。

※WING は常に OS ドライブの最新のファームウェアを使用して起動することに注意してください。古いファームウェアファイルは削除するか、サブフォルダに移動することをお勧めします。